金沢市・協働をすすめる市民会議

市民活動団体
アンケート結果報告

金沢市協働推進計画2026（仮称）策定にむけて

市民活動団体
アンケート結果報告

目次

- 目的
- 金沢市協働推進計画2021について
- 市民活動団体の課題
- 協働に関する団体のニーズ
- まとめ

目的

市民活動団体のニーズや課題を共有

協働推進計画2026策定へむけて

アイディア・ご意見を、ぜひ！



金沢市協働推進計画2021について

３つの基本方針のキーワード

発信・対話の強化、担い手支援、
つながりを束ねて大きな力へ

2007年

金沢市協働推進計画
～市民の思いと力が生かせる
まちづくり～

2016年

金沢市新協働推進計画
～自立した市民との交流・連携
による協働のまちづくり～

2021年

金沢市協働推進計画2021
～あらゆる市民がつながる
パートナーシップによる
まちづくり～

2026年

第４次

アンケート概要

対象
　金沢市内を活動拠点とする
　　市民活動団体　390団体

方法
　郵送によるアンケート調査
　（回答方法：郵送またはオンライン）

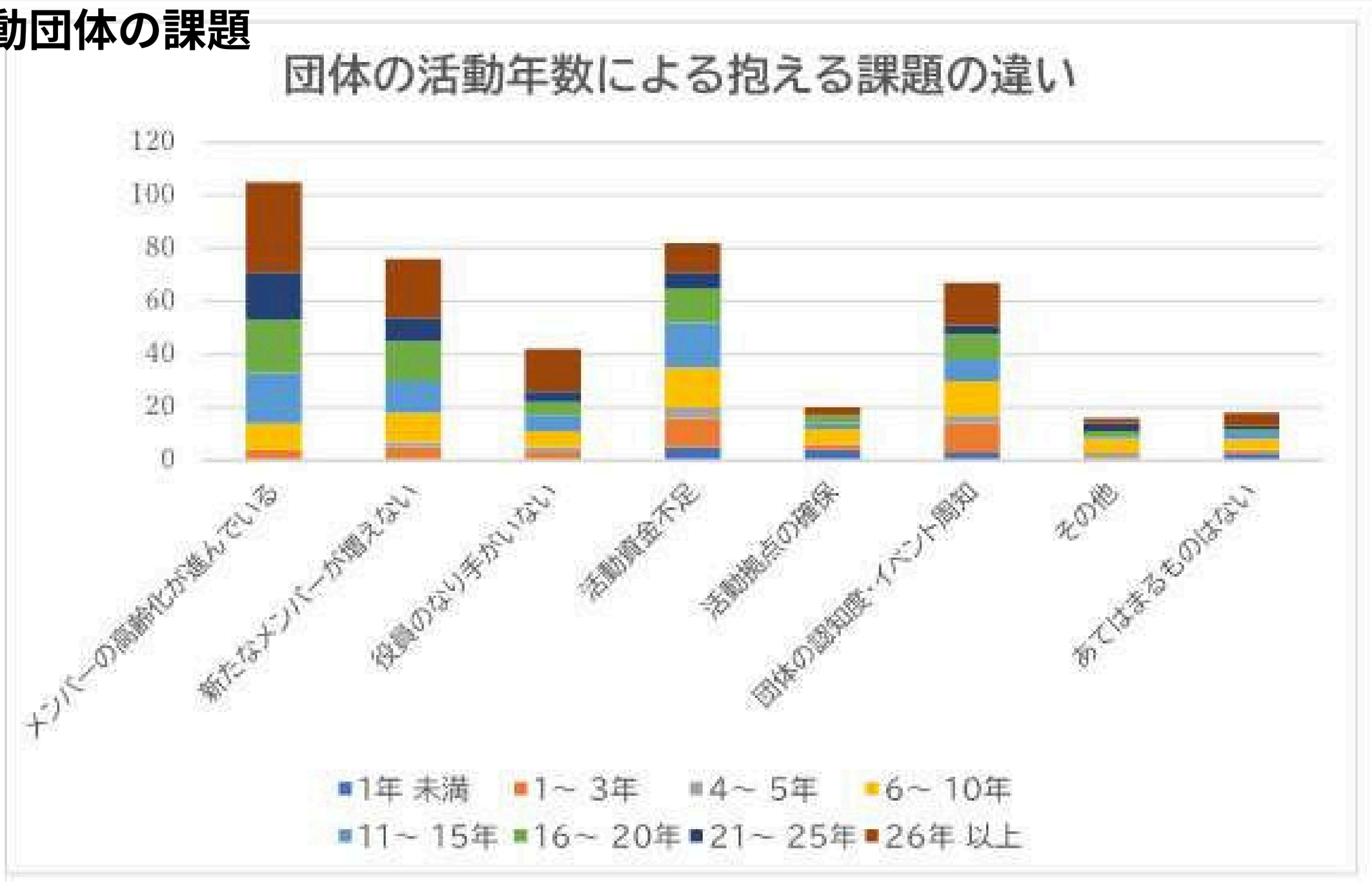
回収率
　約51.8%（202団体、約半数オンライン）

市民活動
団体の課題

上位４つ

メンバーの高齢化
活動資金不足
新たなメンバーが増えない
団体認知度の不足

市民活動団体の課題


団体の活動年数による抱える課題の違い
120
100
80
60
40
20
0
メンバーの高齢化が進んでいる
新たなメンバーが増えない
役員のなり手がいない
活動資金不足
活動拠点の確保
団体の認知度・イベント周知
その他
あてはまるものはない
1年 未満
1～ 3年
4～ 5年
6～ 10年
11～ 15年
16～ 20年
21～ 25年
26年 以上

協働に関する団体のニーズ

協働が”必要”と回答

149 /202団体

約７割

協働に関する団体のニーズ

協働を希望する相手方

行政、同じ分野のNPO
企業、地域団体

協働に関する団体のニーズ

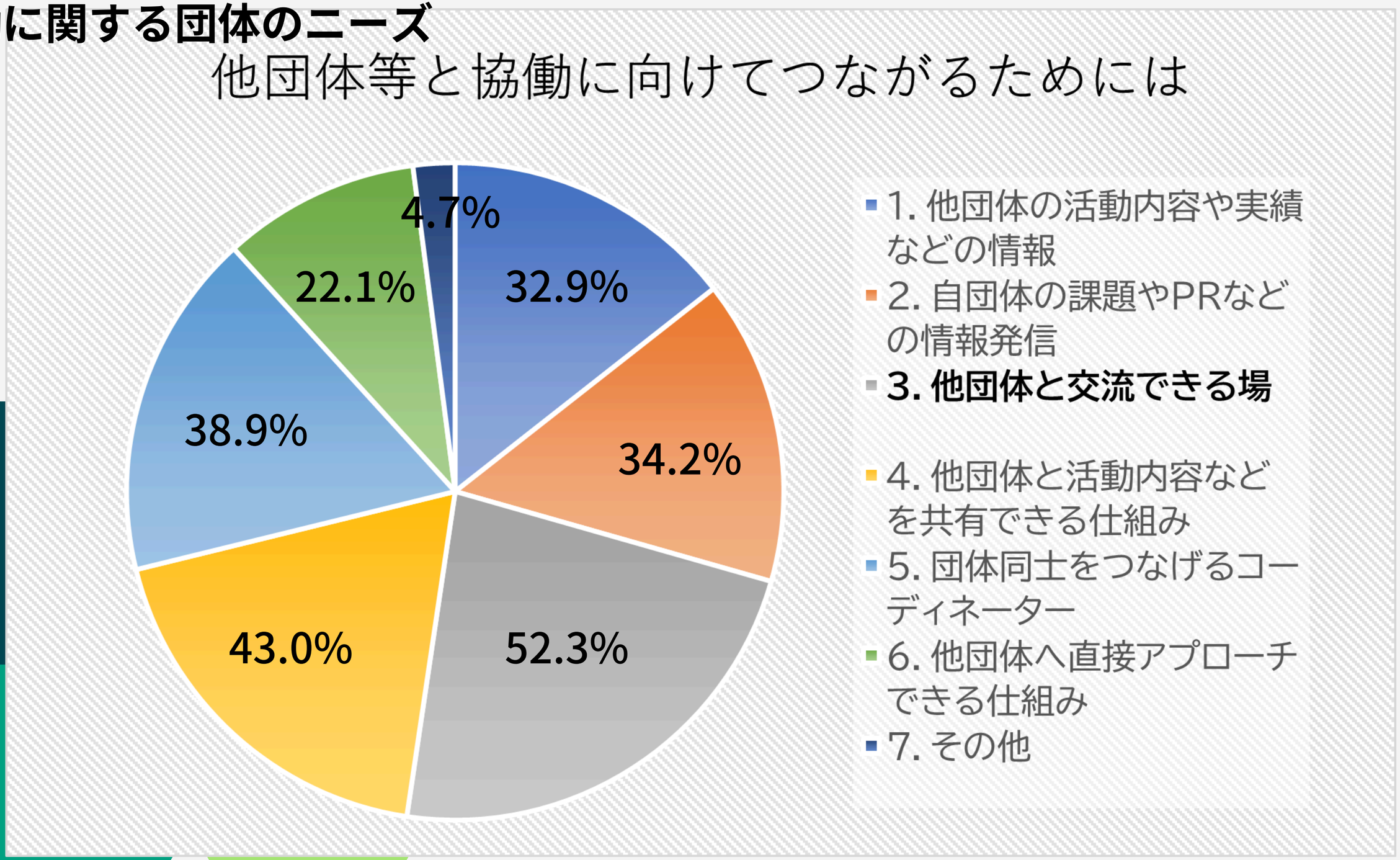
協働を希望する動機

地域貢献、ノウハウ共有

活動機会・場の確保

他団体の人材活用

協働に関する団体のニーズ



協働に関する団体のニーズ

行政へのニーズ

活動費用の助成、情報提供、事業提案

前回と変わらず

自由記載紹介

担い手を確保するためにしている工夫
市民活動や市民協働などについて



市民活動団体
アンケート結果報告

まとめ

- 金沢市協働推進計画2021について
- 市民活動団体の課題
- 協働に関する団体のニーズ

社会の変化

・少子高齢化、人口減少
・個人の価値観やライフスタイルの変化
・コロナ禍における新たな生活様式への対応
・新たな協働の担い手の活躍

行政の変化

・財政悪化
・人的資源の不足
・直面する社会的課題の多様化、複雑化
・デジタル技術の積極的活用



課題のページに戻る

金沢市・協働をすすめる市民会議

市民活動団体
アンケート結果報告

金沢市協働推進計画2026（仮称）策定にむけて